



八坂中学校だより

令和5年2月16日(木)

2月号

大町市立八坂中学校

新 ～八坂小中学校の話しよう～

2月15日(水) 校長講話より

今回のテーマは「新」、令和5年4月に新たに開校する「八坂小中学校」について話します。

まず、この4月から八坂小と八坂中は一つの学校となりますが、これは八坂だけの話ではありません。大町市として、子どもが減少傾向にあることを踏まえ、大町の子どもたちにどこで、どのように学んでもらうか、何年もかけて検討してきました。

そして、今度の4月から、第一中学校と仁科台中学校が「大町中学校」というひとつの中学校になります。そして、ここ八坂では八坂小学校と八坂中学校が一つの学校になることにまりました。さらに、現在東西南北、4つの小学校がありますが、これもいずれは2つの小学校にすると決まり、計画が進んでいます。このように、将来を見据えて、大町市全体の小中学校の在り方が変わろうとしています。これを「大町市の学校再編」と呼んでいます。

八坂小中学校のことについてお話しします。

八坂小中学校は、「施設分離型 義務教育学校」という分類になります。義務教育学校というのは、義務教育の9年間をひとつの学校でできる学校のことを言います。近隣では、美麻小中学校が義務教育学校です。施設分離型というのは、文字通り校舎が分かれていることをいいます。長野県では初めての学校で、全国でも9校ほどしかないと聞いています。八坂では、今の小学校で前期課程の6年間を学び、ここ中学校では後期課程の7年生、8年生、9年生が学ぶこととなります。それぞれの校舎を「そよかぜ校舎」「せせらぎ校舎」と呼びます。そよかぜ校舎で入学式をおこない、9年生で卒業するときにせせらぎ校舎で卒業式を行います。今の小学校6年と中学校1年の時には「修了式」と「進級式」を行い、新たな課程に進む節目をみんなで祝う式を行います。

令和5年度ですが、現在の見込みでは、前期課程に50人、後期課程に15人が在籍する予定です。

次に職員についてです。校長は一人となり、両方の校舎を行ったり来たりします。そよかぜ校舎は教頭ほかの先生方がいます。せせらぎ校舎では、副校長とその他の職員がいることとなります。せせらぎ校舎では、教員がひとり増員となります。また、理科や音楽など、教科によって教員が両方の校舎を行き来することは来年度も継続します。

3年くらいかけて、小学校・中学校の子どもたちが交流する活動を増やしてきました。小学校、中学校のそれぞれの良さを生かして、今後も合同の活動を続けていきます。

また、来年度は子どもの数が減少傾向であることから、音楽会を一緒にできないか検討してきました。八坂ふれあい運動会を9月から6月に、そして中学校のやまびこ祭の日程で音楽会を実施できるのではないかと現在調整中です。この二つの行事は、地域の方やたけのこ保育園の皆さんの協力も必要です。みんなで一緒に楽しめる行事にしたいと思います。

次のこの3月、4月の式典等についてお話しします。

3月16日(木)に卒業式を行い、その中で、校旗を大町市にお返しし、学校をいったん閉じます。

この日は卒業生を送ることに専念したいので、離任式は前日に行うことにします。

4月7日に2年生から9年生が全員そよかぜ校舎に登校し、校名板の除幕式、開校式、始業式をおこないます。その後、7～9年生はせせらぎ校舎にバスで移動して、7年生を迎える進級式を行います。式と言っても、7年生の保護者だけで、来賓はお招きしません。少人数の会なので、7年生の皆さんを歓迎する温かい会にしたいと思います。生徒会の知恵や力を借りたいと思います。協力してください。

新しい八坂小中学校のことをお話ししました。皆さんの中には、この3月で転校、卒業する人もいますが、新たな学校がどのように変わっていくのか、あえてこの時期に皆さんにお話ししました。八坂を離れる皆さんもぜひこの学校の将来を一緒に見守ってください。